

2015年12月11日
ダウ・ケミカル日本
広報室

**ダウ、「PacXpert™」包装技術に関するライセンスを
タキガワ・コーポレーション・ジャパンへ供与、
アジア地域で同技術を拡大**

日本企業としては、2番目のライセンス契約



(写真左：(株)タキガワ・コーポレーション・ジャパン 瀧川弘幸 代表取締役社長
右：ダウ・パッケージング・アンド・スペシャルティ・プラスチック事業部門
マーク・サーリン)

ダウ・ケミカル・カンパニー（本社：米国ミシガン州、会長兼 CEO：アンドリュー・リバリス）の事業部門であるダウ・パッケージング・アンド・スペシャルティ・プラスチックは、株式会社タキガワ・コーポレーション・ジャパン（本社：千葉県船橋市代表取締役社長：瀧川 弘幸）との間で、「PacXpert™(パックエキスパート)」包装技術に関するライセンス契約を締結したことを発表しました。ダウが「パックエキスパート」のライセンスを日本企業に供与するのは、2014年11月の共同印刷株式会社に続いて今回が2例目となります。今回のライセンス契約に基づきタキガワ・コーポレーション・ジャパンは、アジア太平洋地域の顧客に向けて幅広い用途の包装容器を、日本とベトナムにおける生産拠点で製造することが可能になります。また同社は、全世界で11番目、アジア太平洋地域では3番目となる「パックエキスパート」ライセンスパートナーとなります。

タキガワ・コーポレーション・ジャパンは、日本の軟包装業界における代表的な企業です。軟包装材コンバーターとして、食品業界および非食品業界向けに、液体から顆粒物まで幅広い用途向けの高性能包装容器を製造、販売しています。今回のライセンス契約により同社は、数多くの賞を受賞している「パックエキスパート」をアジア太平洋地域

に広めるとともに、同社の主要市場である日本やオーストラリア、インドネシア、タイ、ベトナムにおいて「パックエキスパート」の浸透、拡大を図っていきます。

「われわれは、アジア太平洋地域の各国において、ダウの革新的な『パックエキスパート』を展開するために注力しています。日本は、軟包装に関する要求水準が高い洗練された市場です。わずか1年の間で、日本における『パックエキスパート』のライセンスパートナーが2社になったという事実は、ダウの技術が日本市場にとって価値ある革新的な技術であることを物語っています。日本では、軟包装業界の着実な成長に伴い、包装に求められる基準や条件も大幅に高まっています。タキガワ・コーポレーション・ジャパンとパートナー関係を結ぶことにより、高まる消費者ニーズに対応し、新たな市場を開拓するとともに、顧客に対しては、利便性や機能性がさらに向上した持続可能な包装材の選択肢を提供できるようになります」と、ダウ・パッケージング・アンド・スペシヤルティ・プラスチック事業部門アジア太平洋地区担当コマーシャル・バイス・プレジデントであるマーク・サーリンは述べています。

また、タキガワ・コーポレーション・ジャパンの代表取締役社長である瀧川 弘幸氏は、「『パックエキスパート』は環境特性に優れているだけではなく、これまで満たされていなかったエンドユーザーの要望に対して使い勝手の良さで応えるなど、いくつもの利点が備わった革新的な包装技術です。ダウとパートナーを組むことにより、われわれは協力して製品開発を進めるとともに、パートナーシップによるシナジー効果を生かして、世界市場におけるタキガワの存在感を高めて事業の拡大を図っていきます。今回の提携を通じて、付加価値の高い新しい包装技術の開発に引き続き取り組んでいきます」と述べています。

「パックエキスパート」包装技術は、軽量化を可能にする包装デザインとなっています。上部に取り付けられたキャップや、本体と一体化した人間工学に基づく2カ所の持ち手により、内容物の出し入れを正確に行うことができ、音を立てずに液体を注ぐことが可能です。簡単に再封でき持ち運びにも便利です。また、「パックエキスパート」は、柔軟な包装材でありながら保存安定性に優れています。中に内容物が入っている際は、縦または横にして保管することができ、大容量の硬質プラスチック容器の代替として最適です。さらに、「パックエキスパート」は、容器内に残存して廃棄される内容物の無駄を最小限に抑え、製品単位当たりに必要な包装材の量を減らすことができるなど、数々の環境特性を備えています。「パックエキスパート」は、家庭用、業務用、食品サービス用、工業用など、幅広い用途に適用することが可能です。



「パックエキスパート」は、世界の専門誌や第三者機関などからこれまでに11の賞を受賞しています。

- R&D100 (最も重要な技術開発100製品) アワード2015 (R&D マガジン誌)
- ポーランド化学会ダイヤモンド賞 (「プロダクト・オブ・ザ・イヤー2015」部門)
- サステナビリティ・アワード2015「最優秀軽量化ソリューション」部門第1位 (Packaging Europe 誌)
- 中国リングエ・テクノロジー・イノベーション・アワード2015 (「パッケージング・デザイン」部門、リングエ・トレード・メディア社)

- CFIA イノベーション・トロフィー「食品・飲料」部門シルバー・エジソン・アワード2015
- プラスティコン (Plasticon) ・ゴールド・アワード2015 (「革新的製品/プロセス」部門)
- アンバラージュ包装エキスパート委員会 (Emballage Pack Expert Committee) イノベーション・アワード2014
- 中国サステナブル・パッケージ・テクノロジー・アワード2014
- オスカー・オブ・パッケージング賞2014 (L'Oscar de L'Emballage)
- ABRE ゴールド・アワード2013 (ブラジル包装協会)
- ワールドスター・パッケージング・アワード2013 および2014 (WPO: 世界包装機構)

タキガワ・コーポレーション・ジャパンについて

1949年に他企業に先んじてプラスチック製品の製造に着手して以来、「安全と安心の提供」を経営理念として、品質の向上に努めるとともに数多くの新製品を開発してきた軟包装業界におけるパイオニアです。企画デザインからフィルム・印刷・ラミネート・製袋までの一貫体制に加え、環境負荷の軽減を目的とした、工場内搬送の自動化やオーダー別に稼働状況をリアルタイムに把握できる生産管理システムの導入および、産業廃棄物の発生抑制体制を構築することにより、時代の一步先を行くクリーンな環境と品質管理体制を確立しています。

ダウ・パッケージング・アンド・スペシャルティ・プラスチックについて

ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーの事業部門のひとつであるダウ・パッケージング・アンド・スペシャルティ・プラスチックは、研究開発、世界規模のネットワーク、広範囲にわたる製品ライン、専門知識の強みを結集して、プラスチック市場および接着剤市場向けに持続可能なソリューション、製品、アプリケーションを開発し、事業規模は130億ドルに及びます。3900人の従業員、世界16カ国における48の工場と28の拠点を構え、食品の軟包装や硬質包装、二次包装、物流包装、衛生用品、医療用品、接着用途などの分野における成長セグメントに重点的に取り組んでいます。世界最大のポリエチレン生産者であると同時に、より良い包装材を追求するバリューチェーンにおいて先導的なソリューションを提供しています。

®TMザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

ダウ日本広報室 沢登 (電話: 03 5460 6276 メール: rsawanobori@dow.com)

※写真をご希望の方は、Eメールで沢登にご連絡ください

ダウは、科学技術の力を用いて、人々の進歩に本当に必要なことにイノベーションを起こします。化学、物理、生物学の力を結集し、清潔な水、クリーンエネルギーや省エネ、農業の生産性向上など、世界が直面する課題の解決に取り組んでいます。化学産業を代表する、ダウの統合化された機能性化学品、先端材料、農業科学品およびプラスチック事業は、成長著しい包装材料、エレクトロニクス、水、コーティングや農業などの分野において、約180カ国で製品やソリューションを提供しています。2014年の年間売り上げは580億ドル以上、従業員数は約5万3千人です。世界35カ国201カ所の生産拠点で、6千を上回る製品群の生産に従事しています。米国ミシガン州に本社を置くダウは、1973年に東京証券取引所に上場した最初の外国企業です。

www.dow.com